

# 絶え間ない変化への挑戦こそが 未来へ導く原動力となる。 時代が大きく「SHIFT」する、今こそ NITTA創業の理念を礎(いしずえ)に。

1885年、産業革命によってあらゆる設備や動力、エネルギーが大変革した時代に、ニッタは誕生しました。それから137年。今、私たちの眼前に現れる大きな変化は、ニッタ創業時の時代背景と類似するものがあります。さらにこの数年、ニッタグループが中長期経営計画「SHIFT2030」として大きく舵を切って進み始めた最中に、コロナ禍による大きな変化が私たちの前に迫ってきました。今後、時代の変化の波はさまざまなカタチで、さらに大きく、もっと激しくなることを想定し、厳しい局面に対応し続ける覚悟を持って挑まなければなりません。今こそ、創業者が遺した「発明・改良・円満」を重んじる経営理念を礎(いしずえ)にしながら、さらに「熱意・進取・誠実・敬意」という精神を心に刻み、「日本に無いものをつくる」という強い決意を持って変化へ挑戦し、変革への推進力をさらに強く、スピードアップする必要があります。その変革への想いが、2030年への中長期経営計画で掲げる「SHIFT」に込められています。ものづくりを核に、社会の期待に応え続けてきた挑戦の軌跡には、変わることを恐れずに、自ら変化を生み出す勇気と行動力が刻まれています。それこそが継承すべきニッタイズムであり、未来へ導く原動力となるものです。

「SHIFT」、その絶え間ない変革と挑戦の積み重ねによって、社会に役立つ製品となり、未来を動かし、人々の幸せへとつながっていきます。それこそが、ともに豊かな未来を創造するパートナー、ステークホルダーへの最大の貢献につながると確信しています。

代表取締役社長

石切山 靖 順

## ■ コロナ禍以前を上回る過去最高益の業績を達成

2022年3月期は需要業界全体が好調で、コロナ禍の影響を受けた前年度の厳しい業績をリカバリーした1年となりました。当社グループにおいては、目標未達に終わった2021年3月期の業績から大きく回復しただけでなく、過去最高の業績を記録した2019年3月期をさらに上回る過去最高益を達成することができました。各事業セグメントが全般的に好調で、事業を多角化する当社グループならではの強みやメリットが良い結果につながりました。コロナ対策として特別な施策を実行したということではなく、各現

場が日頃からの業務を精度高く取り組んだ結果であり、「やるべきことをやった」ということにつきます。定性的には業績が芳しくない部門があったとしてもそれをカバーすることで、全体をプラスに転じることができています。これは当社グループが永年積み重ねてきた現場力であり、また変化に強い経営体質の表れでもあります。中長期経営計画「SHIFT2030」の初年度を、非常に良い形でスタートできました。2030年の大きな目標に向けて、さらに弾みを付けて邁進していく所存です。

### ● 連結業績ハイライト

	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	増 減
売上高※(百万円)	78,697	83,734	—
営業利益(百万円)	2,861	5,337	+86.5%
経常利益(百万円)	5,910	13,193	+123.2%
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	4,723	10,489	+122.1%
ROE(%)	4.4	9.3	—

※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用しており、当期の売上高の対前年同期増減率は記載しておりません。

## ■ 2030年のあるべき姿、そして「SHIFT」にかける想い。

【ビジョンステートメント(2030年のあるべき姿)】

ものづくりを核としたシフトイノベーター  
SHIFT INNOVATOR cored around manufacturing

SHIFT  
2030  
SHIFT INNOVATOR  
cored around manufacturing



▶p23 中長期経営計画「SHIFT2030」

社会の変化に対応し、顧客ニーズに応え続けるニッタのものづくり、その活動をさらに加速させる挑戦と決意が「SHIFT」に込められています。社会が求める製品とは何か、そこに必要な技術とは何か。既存製品の深耕と、新しい事業の探索を繰り返し、技術力にさらに磨きをかける。そして、生み出された技術がまた新しい市場で芽を出すことにつながっていきます。そうして生み出された一つひとつの技術や製品を社会の変化に合わせて「SHIFT」させ、活躍や成長のフィールドもさらに「SHIFT」

していく、その「深耕」と「探索」の追求が、中長期経営計画「SHIFT2030」の基本となる考えです。特に新規事業の探索は未知なる挑戦です。20年先、30年先を見据える中、未来の大きな事業を育てるために、この10年で成すべきことを中長期経営計画「SHIFT2030」で示しています。「ものづくりを核としたシフトイノベーター」として、未知なるものを価値あるものに「SHIFT」する。「SHIFT2030」の2年目を迎えた今、ニッタグループの未来へ向けた挑戦はさらに加速しています。